

# みえ県議会 だより

NO. 164

平成30年  
(2018年)  
8月1日



赤目四十八滝(名張市)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

〒514-8570 津市広明町 13

☎ 059(224) 2877 ☎ 059(229) 1931 ✉ gikaik@pref.mie.jp

🌐 <http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

📱 <http://www.gijiroku.jp/mie/>(スマホ版)



▲議会ホームページ



▲スマホ版議会だより

## 平成30年三重県議会定例会 6月定例会議 「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい 三重県づくり条例」を制定

障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例案や、三重県産業廃棄物税条例の一部を改正する条例案などについて審議し、可決しました。

### 本号の主な内容

- 1面 本会議での審議結果、「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例」の制定 ほか
- 2～3面 一般質問、用語解説 ほか
- 4面 委員会の紹介、「みえ高校生県議会」のお知らせ  
三重県議会定例会 今後の日程 (予定)

### 本会議での審議結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況や請願・意見書の内容などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

#### 可決した議員提出議案

- 三重県議会基本条例の一部を改正する条例案
- 障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例案

#### 可決した議案

- 三重県産業廃棄物税条例の一部を改正する条例案 ほか5件
- その他議案

- 工事請負契約の変更について ほか3件
- 人事案件 (同意)

- 公安委員会委員の選任につき同意を得るについて ほか2件

#### 不採択とした請願

- 次期改選までの削減を見据えた議員定数の見直しに係る検討を求めるとのことについて

#### 可決した意見書

- ヘルプマーク等の更なる普及の推進を求める意見書

### 三重県議会定例会 主な開催実績

(会議の様子は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。)

#### 6月

4日 本会議  
議案10件上程、議提議案1件上程  
全員協議会

7日 本会議  
平成30年版成果レポート(案)について  
議案に関する質疑  
障がい者差別解消条例策定調査特別委員会  
条例案について  
本会議

11日 本会議  
一般質問(4人)  
議提議案1件可決  
全員協議会  
障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例案について

13日 本会議  
一般質問(6人)

15日 本会議  
一般質問(4人)  
各常任委員会・分科会  
議案等の審査、所管事項の調査  
予算決算常任委員会  
議案の審査、所管事項の調査

19日～22日  
各常任委員会・分科会  
議案等の審査、所管事項の調査  
予算決算常任委員会  
議案の審査、所管事項の調査

27日 本会議  
議案10件可決、議提議案1件上程・可決、  
請願1件不採択、意見書案1件上程・可決、  
人事同意議案3件上程・同意

※この他にも、議会運営委員会、代表者会議、議案聴取会、広聴広報会議、委員長会議など、さまざまな会議を開催しています。

### 「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい 三重県づくり条例」を制定しました

県議会では、昨年5月に特別委員会を設置し、障がい者差別の解消をめざす条例策定の必要性も含めた調査・検討を行ってきました。

条例策定の必要性が確認できたことから、同委員会では、約1年間の検討を経て、本年6月11日に、「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例案」を取りまとめ、同日29日の本会議に上程しました。この条例案は、同日、全会一致で可決・成立しました。

こととしていきます。

また、障がい者が参画する協議会等の組織を活用して、障がいを理由とする差別を解消するための取り組みを推進することとしています。

この条例の施行については、周知期間等を考慮して、平成30年10月1日からとしています。

この条例の施行については、周知期間等を考慮して、平成30年10月1日からとしています。また、障がい者が参画する協議会等の組織を活用して、障がいを理由とする差別を解消するための取り組みを推進することとしています。



特別委員会の様子

### 「三重県議会基本条例」の一部を改正しました

県議会では、昨年6月、議会改革の取り組みの一環として、「制定から10年を経過した議会基本条例について、今の時代に見合った条例改正の必要性」を検討することとし、同年9月から、議会改革推進会議内に設置された検討プロジェクト会議において、具体的な検討を進めてきました。

同会議での検討の結果、近年の大規模な災害等の発生状況等に鑑みると、「大規模な災害その他の緊急事態への対応」に関する規定を議会基本条例に盛り込む必要があるとの結論に至り、パブリックコメントを経て、同条例の一部改正案を取りまとめました。

この条例改正案は、本年6月4日に、議員提出条例案として本会議に上程され、同年6月11日、全会一致で可決・成立しました。



検討プロジェクト会議の様子

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています。

# 一般質問

## 自動運転社会の推進について

津田 健児 議員  
自由民主党県議団  
四日市市選出



**問** 自動運転は、高齢者や障がい者などあらゆる人に「移動する自由」を提供できる点や交通事故の減少が期待できるという点で大きなメリットがあります。加えて、自動車産業が集積する地域にとつて、取引の裾野や雇用の規模を広げるチャンスでもあります。そこで、自動運転を積極的に推進していくべきと考えますが、県の考えを聞かせてください。

**答** 本県では過疎地域をはじめ都市周辺部にも交通不便地が数多くあります。自動運転技術は、さまざまな交通課題の解決につながるもので、県としても強い関心を持っており、早期の実用化を望んでいます。今後、市町にも自動運転への理解や関心が深まるよう、幅広く情報収集を行い、積極的に情報提供を行っていきます。



## その他の質問事項

○教育委員会のPDCAサイクルについてほか



▲一般質問(津田健児 議員)

## 宮川の河川流量回復を

西場 信行 議員  
自民党  
多気郡選出



**問** 宮川ダムでは発電に使用した水を熊野灘などに放流しています。宮川の流量回復と水質改善のため、平成12年に宮川流域ルネッサンス委員会が将来の流量回復目標を「宮川ダム直下毎秒2トン、粟生頭首工直下毎秒5トン」と設定しました。今後、目標達成に向けて、どう取り組むのか、また、大和谷川上流からダム直下への直接放流についての考えをお聞かせください。



**答** 流量回復目標と大和谷川上流から宮川ダム直下への直接放流についてご提案をいただきありがとうございます。まず、平成13年に宮川流域ルネッサンス委員会で確認された当面の流量回復目標である「宮川ダム直下毎秒0.5トン、粟生頭首工直下毎秒3トン」をしっかりと運用していく中で、課題を整理し、宮川流域振興調整会議で引き続き検証を行ってまいります。

## その他の質問事項

○地方創生と観光取組について  
○エネルギー政策課題について



▲一般質問(西場信行 議員)

## 「インターハイ」の成功に向けて

館 直人 議員  
能動  
三重郡選出



**問** 今年7月に本県が中心となって開催される「全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」は、平成最後に開催される大会であり、成功に向けて準備を進めていただいているところとあります。そこで、「インターハイ」を絶対的に成功させるという意気込みと、「スポーツイヤー2年目」の決意を知事にお聞きします。

**答** 高校生が日本一を競い合うにふさわしい舞台を用意するとともに、未来へ飛躍する次世代への架け橋となる大会にします。また、インターハイで高まった本県選手の競技力、安全で安心な大会運営のノウハウ等を磨き上げ、「三重とこわか大会」の成功につなげていきます。



総合開会式全体練習会での選手団激励の様子

## その他の質問事項

○「三重とこわか大会」について  
○治安の維持による安心の確保について



▲一般質問(館直人 議員)

## 発災後の復旧のために

大久保 孝栄 議員  
鷹山  
熊野市・南牟婁郡選出



**問** 発災後には、インフラや住宅への多数の被害が発生すると想定されます。これらの復旧工事に迅速に取りかかるには土地所有者や境界が明確になっていくことが大事だと思えますが、県の地籍調査の現状について教えてください。また、市の人材不足等により、地籍調査が進まないことが懸念されますが、県の考えをお聞かせください。



**答** 本県の地籍調査の進捗率は、昨年度末で9.5%と極めて低い状況であり、市町と連携して進捗率の向上に取り組んでいるところです。地籍調査は南海トラフ地震対策の面からも大変重要であると考えており、今後も緊急性の高い地区の地籍調査を市町に促すとともに、国には必要な予算の確保を強く要望してまいります。

## その他の質問事項

○「三重県広域受援計画」について  
○近畿自動車道紀勢線についてほか



▲一般質問(大久保孝栄 議員)

## 県と市町の健康マイレージの運動について

山内 道明 議員  
公明党  
四日市市選出



**問** 県の「健康マイレージ事業」の名称に、「とこわか」の冠を付け「三重とこわか健康マイレージ」としたことで、県民の皆さんの健康づくりへの大きなきっかけがつけられることとなりました。この事業は、市町の取り組みをサポートする制度ですが、県が主催するスポーツイベント等への参加等も市町のポイントへの付与対象としてどうかと考えますが、いかがですか。

**答** 県民総参加による健康づくりとするため、市町の事業でマイレージ特典協力店からさまざまなサービスが受けられるように、県と市町の事業を連携させていきます。また、県が開催する健康づくりに関する研修会やスポーツ大会等も市町のポイントが付与される仕組みにしたいと考えており、市町との調整を進めてまいります。

## その他の質問事項

○「SDGs(持続可能な開発目標)」の取り組みについて  
○高校の夜間における通学の安全確保について



▲一般質問(山内道明 議員)

## 子ども食堂について

倉本 宗弘 議員  
大志  
桑名市・桑名郡選出



**問** ④子ども食堂の効果は、「貧困対策」のみではなく、子育て支援、地域コミュニティの醸成、学力向上など大きな可能性を持っていると認識しています。子ども食堂は、地域のニーズから自主的な県民の活動として生まれたものですが、継続して取り組まれていることが望まれます。そのため、県のサポートが必要と考えますが、今後、どのような取り組みをされるのかお聞きします。



**答** 子ども食堂は、貧困対策だけでなく、地域交流や食育の場、子育て家庭が地域とつながれる場でもあり、県として、食品衛生も含めたノウハウの提供や関係者のネットワークづくり、支援者との橋渡しなどの支援を行っていきたいと考えています。今後、現場の状況を把握しながら、市町と連携して、持続可能な取り組みとなるよう推進してまいります。

## その他の質問事項

○動物愛護について  
○認知症対策について



▲一般質問(倉本宗弘 議員)

## 三重県の福祉医療費助成制度の方向性について

下野 幸助 議員  
新政みえ  
鈴鹿市選出



**問** 本年度から県では未就学児を対象とした子ども医療費助成の窓口無料を導入しましたが、補助対象を児童扶養手当の所得制限基準を適用した家庭としています。市町によっては所得制限の緩和や廃止するところもあり市町間で格差が広がることを懸念しています。そこで、市町の助成制度の違い、また、補助対象の拡充についてどのように考えているのかお聞きします。

**答** 窓口無料化への制度拡充については、昨年度に検討を重ね、一時的な窓口負担も困難な家庭の子どものためのセーフティネット拡充を目的として、県の補助の対象を児童扶養手当の所得制限基準を適用した家庭の子どものところとします。また、福祉医療費助成制度は、あくまでも市町が実施主体です。実施時期などについては各市町の判断を尊重したいと考えています。

## その他の質問事項

○不妊治療の助成制度のさらなる周知と所得制限緩和について  
○保育士確保のための給与等の処遇改善について



▲一般質問(下野幸助 議員)

### 道路・河川管理等災害・事故対策について

野口 正 議員  
自由民主党県議団  
松阪市選出



#### 問

道路や河川の整備状況について、現状を見ますとその安全対策が懸念されます。道路においては「施設の修繕や除草、区画線の引き直しが行われていない」。河川では「浚渫対策や雑木の除去などの対策ができていない」といった声が聞かれます。このままでは、事故や災害が発生するおそれがあると思います。県はどのように対策していくのかお聞きします。

#### 答

道路施設は、通行の安全性・快適性の確保、河川管理施設は、自然災害等から人命や財産を守る災害防止のためパトロール等を実施し、良好な状態を保つようになっています。今後も地域の皆さまの協力もいただきながら、限られた財源の中で優先度を明確にして、必要な維持管理を行ってまいります。



道路美化ボランティアの様子

#### その他の質問事項

○山林の維持管理、獣害対策について

○三重県松阪

食肉公社の現状について  
て ほか



▲一般質問(野口 正 議員)

### 犯罪被害者等支援条例の制定について

芳野 正英 議員  
新政みえ  
四日市市選出



#### 問

昨年の一般質問で、犯罪被害者等支援条例についてお聞きし、条例制定について調査・検討していくという答弁でありましたが、先日、犯罪被害に遭われたご家族の方から知事あてに手紙が送られたことを受けて、知事は改めて条例制定の必要性について会見で述べられました。そこで、改めて知事の犯罪被害者支援に対する思いと条例制定の時期についてお聞きします。



#### 答

犯罪被害者遺族の方から受け取りましたお手紙には、ご遺族の苦しみが綴られており、犯罪被害に対する救済を求める切実な声として、非常に重く受け止めています。条例は、めざすべき理念の実現に向け、国・県・市町等の役割を明確にし、計画的に取り組む上で意義があり、8月を目途に、県としての方向性をお示ししたいと考えています。

#### その他の質問事項

○放課後等デイサービス事業所への監査について

○地域での水防訓練について

て ほか



▲一般質問(芳野正英 議員)

### 福祉医療費助成制度について

小林 正人 議員  
自由民主党県議団  
鈴鹿市選出



#### 問

平成26年度における県内の精神障がい者入院患者数は年々増加傾向にあり、精神障がい者2級の方が全体の約65%を占めています。そこで、精神障害者保健福祉手帳1級の通院のみとしている精神障がい者の医療費助成の対象を、1級の入院及び2級の通院まで対象範囲を拡大すべきと考えますが、県の考えをお聞かせください。

#### 答

精神障がい者の医療費助成については、平成20年に精神障がい者1級の通院までを新たに助成対象としました。障がい者医療費助成制度にかかるとる助成対象の拡大にあたっては、本県の実情に鑑み、制度の持続性を確保しながら、給付と負担のバランスを勘案するなど、慎重に検討する必要があります。と考えています。



#### その他の質問事項

○キャリア教育の推進について

○三重交通G

スポーツの杜鈴鹿について



▲一般質問(小林正人 議員)

### 防災・減災対策の強化について

濱井 初男 議員  
新政みえ  
多気郡選出



#### 問

防災・減災に対する県民の安全・安心の確保について知事の思いを改めて聞かせてください。また、昨年の台風による大きな被害があり、多気町では公民館に土石流が流れ込んでしまった。そこで、「三重県版タイムライン」を市町にも導入することでより一層被害を小さくできると思いますが県の考えをお聞かせください。



#### 答

防災・減災対策は本県の最重要課題として位置付け、平成30年3月策定の「三重県防災・減災対策行動計画」等に基づき取り組みにより、地震・津波対策、風水害対策を加速させます。また、台風被害の最小化に向け、同年3月に策定した「三重県版タイムライン」を基に「市町タイムライン」を作成し、県と市町、関係機関が連携した取り組みを進めます。

#### その他の質問事項

○林業の振興と森林づくりについて

○滞在型複合施設アクアイグニス多気(仮称)について

て ほか



▲一般質問(濱井初男 議員)

### 「地方創生」の現時点での評価は

三谷 哲央 議員  
新政みえ  
桑名市・桑名郡選出



#### 問

政府が進める「地方創生」政策は識者によって評価が分かれまます。例えば、地方への交付金は国が事業内容を検討し、採否を決定するひも付き補助金であり、また、国が「地方創生」として自治体の競争で求めているのは成功事例で、成功がある以上、失敗や衰退は地域・自治体の責任となるという指摘もあります。このようにさまざまな議論がある「地方創生」について、知事の評価をお聞きします。

#### 答

本県や国の地方創生の状況は、未だめざしている成果が現れていない中、国が交付金を今年度も確保し、制度運用を改善したことで地方に視点を向けた大学の振興方策の取り組み、若者を中心としたU・I・ターン対策の抜本的強化等を示したことは、地方の実情をふまえた対応として一定の評価ができるものと考えています。



三重県地方創生会議の様子

#### その他の質問事項

○桑名東部広域の現状は

○木曾三川下

流域の耐震対策は



▲一般質問(三谷哲央 議員)

## 用語解説

### 1 三重県広域受援計画

平成29年度に三重県が策定した計画で、大規模災害発生後、国、他県等からの応援を円滑に受入れ、効果的な被災者支援につなげることを目的に、緊急輸送ルートや活動拠点などについてあらかじめ整理したものです。

### 2 健康マイレージ

県民の主体的な健康づくりを促進するための仕組みであり、日々の運動や食事等の生活改善や、特定健康診査やがん検診の受診、健康講座やスポーツ教室、ボランティア等の社会参加など市町で決定した健康づくりメニューを行った県民が、特典を受けられる制度のことです。

### 3 SDGs

「持続可能な開発目標」の略称で、持続可能な世界を実現するため、国連加盟193か国が2016年～2030年の

### 4 子ども食堂

15年間で達成する国際目標であり、貧困や健康、教育など17の目標、169のターゲットから構成されており、2015年9月の国連サミットで採択されました。

### 5 三重県版タイムライン

平成29年度に三重県が導入した行動指針で、事前に影響予測ができる風水害である台風を対象に、被害の最小化につながるため、発災前から「いつ、誰が、何をするか」を時系列で整理したものです。今年度から本格的に運用を開始しています。

## 議会のインターネット中継がスマホからご覧になれます。



三重県議会では、本会議・委員会・議長定例記者会見などのインターネット中継・録画配信を行っています。スマートフォンやタブレット端末からも視聴できます。議会ホームページの「議会中継」または「議長定例記者会見」からご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

(2)、3ページに掲載しているQRコードをスマートフォン等で読み取っていただくと、それぞれの質問者の録画配信をご覧いただけます。

# 委員会の紹介

行政部門別常任委員会の活動を紹介します。

## 総務地域連携常任委員会

行財政の運営、地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- 財政の健全化 将来世代に負担を先送りすることのない持続可能な行財政運営の維持に向け、平成29年度に策定した「三重県財政の健全化に向けた集中取組」の実施状況等について調査します。
- スポーツの振興 平成33(2021)年の三重とわか国体・三重とわか大会開催に向けた準備状況や競技力の向上、スポーツを通じた地域活性化への取り組みについて調査します。
- 南部地域の活性化 市町と連携した県南部地域の活性化や熊野古道世界遺産登録15周年に向けた来訪促進のための取り組みについて調査します。



運動会で団体等のダンスを踊るとこまる

## 環境生活農林水産常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策、農林水産業の振興などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- ダイバーシティ社会の推進 性別や国籍、年齢等に関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できるダイバーシティ社会の推進に向けた取り組みについて調査します。
- 地球温暖化対策と大気・水環境の保全 温室効果ガスの排出削減、工場等からのばい煙や排水の排出規制等に係る取り組みについて調査します。
- 農林水産業の振興と福祉との連携 生産体制・生産基盤の整備や担い手の確保・育成、国内外への販路拡大のほか、障がい者の就労促進など福祉との連携を進める取り組みについて調査します。
- 水田農業の推進(主要農産物種子の安定供給を含む) 県産米の需要拡大や麦、大豆の生産性の向上のほか、稲・麦・大豆の優良種子の安定供給に係る取り組みについて調査します。



タイでの南紀みかん販売の様子

## 防災県土整備企業常任委員会

危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業(病院事業を除く)の運営などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- 防災・減災対策 地震や津波、風水害による被害軽減に向けたハード面、ソフト面の取り組みについて調査します。
- 消防・保安行政 消防団員の確保や消防広域化等に関する取り組みについて調査します。
- 建設産業の活性化 社会資本の整備や雇用の創出など重要な役割を担う建設産業の活性化について調査します。
- 道路及び流域の整備 道路の整備や維持管理、近年多発する中小河川での災害を踏まえた流域の整備について調査します。



北勢広域防災拠点

## 戦略企画雇用経済常任委員会

県政の総合企画調整、雇用対策、エネルギー政策、産業振興(農林水産業を除く)、国際交流、観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- 若者の県内定着 県の人口減少の要因の一つである若者の県外流出に歯止めをかけるため、若者の県内定着に向けた取り組みについて調査します。
- 広聴広報の充実 県民との接点である広聴広報の取り組みについて調査します。
- 産業振興 県内産業の振興について調査します。

- 労働力不足の解消 生産性の向上や働き方改革等、労働力不足を解消する取り組み等について調査します。
- 観光産業の振興 持続可能な観光地づくり、インバウンド誘致、国際会議等MICE誘致の取り組みについて調査します。



県内ものづくり企業技術交流会

## 医療保健子ども福祉病院常任委員会

医療・介護行政の推進、保健衛生行政の推進、子ども・青少年の育成、社会福祉・社会保障の推進、病院事業の運営などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- 医療と介護の総合的な確保 地域包括ケアシステムの構築、認知症対策等について調査します。
- 国保財政基盤の安定化と健康づくりの推進 国民健康保険の安定的な運営、県民の健康づくりを促進する取り組み等について調査します。
- 子どもの豊かな育ちを支える体制づくり 子どもの健やかな育ちを支える取り組み等について調査します。
- 支え合いの福祉社会づくり 社会的孤立に陥りやすい人を支え合う地域づくり、地域福祉を支える人づくり等について調査します。



県内で開催されたポッチャ国際大会の様子

## 教育警察常任委員会

学校教育の充実、社会教育・文化財保護行政の推進、警察の組織・運営などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- 学力・体力の向上 英語教育など新学習指導要領への対応状況や運動部活動の適切な運営に向けた取り組みなどについて調査します。
- 県立高等学校の活性化 県立高校が各校の特色を生かし、さらに活性化するための取り組みや外国人生徒教育の充実など多様なニーズに応じた教育の推進について調査します。
- 安全で安心な教育環境づくり いじめや暴力行為、不登校、貧困等の課題への対応状況のほか、学校内外における子どもたちの安全確保に向けた取り組みなどについて調査します。
- 総合的な犯罪抑止対策と交通安全対策 特殊詐欺などの犯罪抑止対策や交通安全対策の取り組みなどについて調査します。



小学校での授業の様子

## 8月21日に「みえ高校生県議会」を開催します!

高校生に、議会活動の体験を通じて議会への関心を高めるとともに、高校生の意見を議会での議論に反映していくため、「みえ高校生県議会」を開催します。平成26年に初めて開催し、3回目となる今回は、県内11校から40人の高校生が参加します。

開催日：平成30年8月21日(火) 11時40分～16時 (昼食休憩挟む)

場所：三重県議会講堂 議場  
内容：高校生が質問し、県議会議員が答えます。

参加校	
桑名北高等学校	津田学園高等学校
暁高等学校	四日市南高等学校
津高等学校	津西高等学校
セントヨゼフ女子学園高等学校	久居農林高等学校
三重高等学校	名張高等学校
紀南高等学校	

当日は議場で傍聴ができるほか、インターネット生中継も行いますので、ぜひご覧ください。

11時10分から受付を開始します。議事堂1階の傍聴者用エレベーターで6階の傍聴受付へお越しください。

ネット中継 三重県議会ホームページの「議会中継」からご覧ください。

## 三重県議会定例会 今後の日程(予定)

三重県議会の会期は通年制となっています。8月から10月までの日程は次のとおりです。

8月31日	代表者会議
9月7日	議会運営委員会
14日	本会議(議案上程)
20日	本会議(議案質疑)
25日	本会議(一般質問)
10月1日	本会議(一般質問)
2日	本会議(代表質問)
3日	予算決算常任委員会
4日	全員協議会
5日	各常任委員会及び分科会
15日	本会議(代表質問)
16日	代表者会議、議会運営委員会
17日	本会議(採決・議案上程)
24日	予算決算常任委員会
25日	全員協議会
30日	予算決算常任委員会
31日	予算決算常任委員会(決算総括質疑)

この日程は、平成30年7月6日現在の予定です。最新の情報は、ホームページから「議会の日程」をご確認ください。